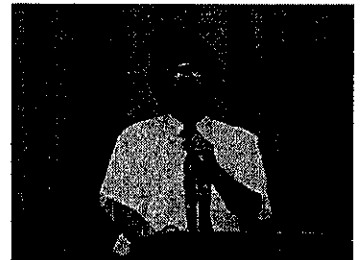


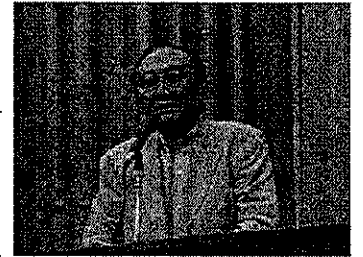
水源環境保全・再生かながわ県民会議 活動結果報告

平成 20 年 7 月 31 日に開催した「第 5 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（横浜・川崎地域フォーラム）」の内容は次のとおりでした。

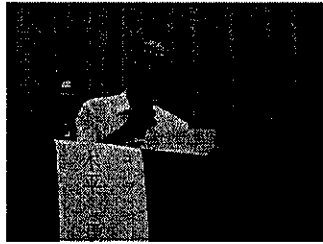

名 称	第 5 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（横浜・川崎地域フォーラム）													
	企画運営委員	天内康夫、長谷川朝恵、牧島信一												
開催日時	平成 20 年 7 月 31 日（木） 18:30～20:30													
開催場所	かながわ県民センター ホール													
出席者	金澤史男（※1）、新堀豊彦（※2）、片山幸男、倉橋満知子、木平勇吉（※3）、坂本勝津雄（※4）、高橋二三代、萩原なつ子、真覚邦彦、増田清美、吉村妙子 ※1 主催者あいさつ、※2 説明者、※3 コーディネーター、※4 パネリスト													
参加者	91名													
報告者	長谷川朝恵													
内 容	<p>1. 主催者あいさつ 金澤座長</p> <p>○県民フォーラムは、県内 5 つの地域割りにより開催しており、本日が 5 回目で 1 巡をする。その意味で、本日は県民フォーラムの取り組みの最後、総括的な位置付けとなる。この 1 年間の取り組みの成果と課題について、認識を深めていけるのではないかと期待している。</p> <p>○昨年度 3 回開催した分の意見については、内容を集約し 5 月 15 日に知事に報告し、真摯に受け止めていただいた。今年度 2 回分の意見も集約し報告していきたい。</p> <p>2. 横浜・川崎の水源地レポート 特定非営利活動法人神奈川自然保護協会 新堀理事長</p> <p>○横浜市民の方は、道志川の水を飲んでいると思っている方がほとんどだが、道志川水系からは実は 10% 不足の水しか供給されていない。</p> <p>○神奈川県内でみると、水源地のほとんどが丹沢山塊となる。丹沢では、1980 年代からものすごい勢いでブナの立ち枯れが起きており、丹沢山塊がだめになると神奈川県の水源環境は極めて質が悪くなっていくということが明らかである。</p> <p>○丹沢山塊に対して、自分たちの命の糧がそこから来ているんだという認識を持っていただく必要がある。</p> <p>3 行政からの水源環境保全・再生事業の説明</p> <p>(1) 水源環境保全・再生事業について 県・星崎水源環境保全担当課長</p> <p>(2) 県の水源の森林づくり事業について 県・内海水源の森林推進担当課長</p> <p>(3) 秦野市の地域水源林事業について 秦野市・相原森林づくり課里山特定主幹 各行政担当者からパワーポイントにより、事業説明及び進捗状況の説明を行った。</p> <p>4. パネリスト活動報告・意見発表、フロアディスカッション</p> <table border="0"> <tr> <td>コーディネーター</td> <td>東京農工大学名誉教授</td> <td>木平勇吉</td> </tr> <tr> <td>パネリスト</td> <td>水源環境保全・再生かながわ県民会議委員</td> <td>坂本勝津雄</td> </tr> <tr> <td>”</td> <td>特定非営利活動法人よこはま里山研究所理事長</td> <td>松村正治</td> </tr> <tr> <td>”</td> <td>横浜国立大学大学院国際社会科学科博士課程後期</td> <td>清水雅貴</td> </tr> </table> <p>各パネリストからの活動事例・意見発表に引き続き、会場からの質問・意見等を踏まえ、フロアディスカッションを行った。</p>		コーディネーター	東京農工大学名誉教授	木平勇吉	パネリスト	水源環境保全・再生かながわ県民会議委員	坂本勝津雄	”	特定非営利活動法人よこはま里山研究所理事長	松村正治	”	横浜国立大学大学院国際社会科学科博士課程後期	清水雅貴
コーディネーター	東京農工大学名誉教授	木平勇吉												
パネリスト	水源環境保全・再生かながわ県民会議委員	坂本勝津雄												
”	特定非営利活動法人よこはま里山研究所理事長	松村正治												
”	横浜国立大学大学院国際社会科学科博士課程後期	清水雅貴												



金澤座長



新堀理事長

<p>内 容 (続き)</p>	<p>活動事例・意見発表 (坂本氏)</p> <p>○水源地に暮らす者として、身近な山で手入れが進んでいることを実感している。また、県民会議の事業モニターチームで秦野市の事業を視察したところ、行政と地主とボランティアの3者が一体となっていて素晴らしかった。ボランティアの協力を得るためには、水源林整備のためのステージを提示する必要がある。</p> <p>○本日、若者が多く参加いただいていることに非常に力をもらえる。一緒に力を合わせていきたい。</p> <p>(松村氏)</p> <p>○近年、森林の手入れをする団体は増えているが、団体同士の相互交流が広がらない、活動の意義が社会的に還元されていないといった課題もある。</p> <p>○水源環境の保全・再生のために、①上下流交流では限界があるので、まず水源地に近い地域自体が再生される必要があること、②ある程度は自然を保全・再生するための公共事業を進める必要があること、③さらなる科学的な調査研究により事業のメリットについての説明責任を果たす必要があること、④都市住民が行きたくなる近場のエコツーリズムを開発する必要があることを提案したい。</p> <p>(清水氏)</p> <p>○水ゼミでは、現在、主に次の3点について議論している。①県民すべてが森林環境の現状を認識するためには、県民フォーラムに参加していない県民にこそ説明が必要であり、県民意識の向上を促す事業が必要であること。②森林保全の担い手不足に対して、新しい林業関係者を育成する事業が必要であること。③県外の上流域における生活排水対策意識の遅れに対して、県域を越えた事業が不可能な現状では、水源環境に対する理解を共有する必要があること。</p> <p>○解決策として、意識の改革と森林づくりの担い手の確保が必要ではないか。</p> <p>フロアディスカッション 【横浜や川崎といった水源の森林がない地域において、「豊かな水・良質な水」づくりにどのように協力できるか】 (松村氏) まず、自分たちの身の回りにある水の流れ、水の道がどうなっているのかを調べるところから始めていただくと、身の丈にあった形で考えられるのではないかと。</p> <p>【フォーラムにこない人々の意識向上の具体的な方法について】 (清水氏) 県民が水源環境保全税を実際にいくら払っているのかを意識させることが必要ではないかと。</p> <p>【丹沢大山のブナが再生できる可能性について】 (木平委員) 丹沢はブナで有名であり、象徴的な木だが、ブナでなければならぬということはない。木は、立地にあったものが生える。ブナは再生に非常に時間がかかるため、諦めることなく更新のための補助作業や観察を行う必要がある。</p>
	 <p>コーディネーター (木平委員)</p>
	 <p>パネリスト(左から坂本氏、松村氏、清水氏)</p>

第5回県民フォーラム準備委員の感想

<p>天内康夫</p>	<p>委員の皆様や事務局の皆さんのおかげで、充実したフォーラムになって感謝しています。特に、横浜市民がとかく思い込みすぎている「横浜の水は道志の水」意識を、イの一番に新堀先生に解消していただいて、大きな成果があったように思います。</p>
<p>長谷川朝恵</p>	<p>松村氏、清水氏の参加により、視野が広がり、いくつかの課題も明確になり、有意義なフォーラムであったと思います。平日の夜開催という時間的な制約は、いつもながら大きな課題ですね。開催時間・場所などの工夫により、今後参加者の幅を広げたいと思います。</p>
<p>牧島信一</p>	<p>横浜・川崎の市民は安定・安全な水道水に恵まれているが故に、水源地域の抱える課題への認識は極めて低い。道志も水源、丹沢も重要水源、富士山麓の伏流水と山中湖から発する桂川・相模川も水源。今回は荒廃した丹沢山塊の水源林での課題と対策等を概観するよい機会となりました。</p>

第5回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（横浜・川崎地域フォーラム） 意見集約表

番号	項目	内容
1	森林整備等関連項目	【林業従事者の育成】 森林整備を本格的に長期的に行うには、若い人が安心して森林整備業に従事できるようにしたい。給与等、県の職員として迎えられないのか。
2		【地域水源林事業について】 秦野市のとりくみと水源再生保全施策とのつながりがよく分からなかった。 はたして、里山の保全が水の質に影響を与えているのか？
3		【水源環境保全税収でかなり増額された森林整備予算に対して、森林事業者が対応できるのか？】 森林整備に関する予算が一気に増額されたが、実際のところ、それをすべて担うことができるのか、つまり、神奈川県内の森林事業者は対応できるのか。
4	負荷軽減（排水・河川等）	【県内上流域で下水道整備をおこなうと本当に相模川流域の水質は良くなるのか？】 これは山梨県域での現地調査の結果だが、現状として、雨水・または生活排水が直接河川に流入している事実がわかった。もちろんこのことはなんとかしなければならぬと感じるが、一方で、大規模下水処理場の下流で簡易水質検査（バックテスト）を行ったところ、一時的に水質悪化が認められた。本当に大規模下水処理施設の設定は流域全体の水質改善に効果があるのか。
5		【公共下水道の未設置地区は早く合併浄化槽の市町村整備を】 公共下水道が停滞している今、里山地帯は、早く成果があり、浄化に何ら遜色のない合併浄化槽の市町村整備事業に転換すべきではないか。 人口の過疎地帯では、4割補助の個人設置で、メンテナンスも劣り、神奈川県が全国一、11条点検の低い点をどう思うか。 水源の森も大切だが、水の流水経路上の環境問題にも力を入れるべし。
6		「飲み水」を得ている立場では、上流域との関係というか上流域からの負荷をどう軽減化するかが気になります。思うようにいかず計画を見直すようですが、ねばり強くやってください。
7		生態系に配慮した河川・水路整備が水環境向上に必要と考えます。
8		水源を保全していく取組みは大事なことと思いますが、相模川下流の寒川取水堰から取水している浄水場では、生活雑排水・畜産排水・工場廃水(処理されているものもあるでしょう)等の流入で水が汚染されている可能性もあると思います。 実際、上流を水源としている人口と、下流を水源としている人口の比率は、どうなっているのでしょうか？上流域の人口が圧倒的に多いようでしたら、今の方向性はいいと思うのですが、そうでないのであれば、東京都のようにオゾンなどの高度処理を浄水場に導入することも検討すべきではないでしょうか。 でないと、下流域から取水している水を飲む人は、同じ税金を払っているのに、その恩恵を受けた実感がないと思います。
9		浄化槽、急いで下さい。
10		【19年度事業実績報告】 19年度事業内容(実績)をもっと具体的に説明が一望できるものが欲しい。 例えば、「〇〇市〇〇の森林名と費用」、「〇〇市の〇〇の多自然川づくりと費用」など誰でもがわかるように説明して下さい。
11		【野山を持たない子供達に、緑の大切さを伝えたい】 横浜市港南区→南区→中区内を流れる大岡川は、春先に、弘明寺から下流、日ノ出町あたりまで、花見でにぎわいます。このとき川からの悪臭はほとんどありませんが、6月頃からの引き潮時に、ヘドロのようなニオイがあります。 川は、せまい地域のみで成り立つものでないと思います。 南区内において、水源となる林や里山が無い中で、いかに子供達(幼・小・中・高)に意識を持たせるか、という取組はどのように考え、実行・実績があれば、聞きたい。パンフレット作成で事済むものではないと思うが。 毎年7月初旬、南区内平楽中学校の「まちから学ぶ時間」で、大岡川をバードウォッチングを通して学習しているので、参考としたい。
12	都市部に住む人にとって保全体験をすれば良いのは分かるが、たくさん子ども達が遠くて行けないため、小・中学校生の持つ意識を育てる手法を考えてほしい。	
13	主旨には賛成。ただし、周知活動が絶対的に不足している。その点を頑張ってもらいたい。	
14	【県民それぞれに課せられた税額がわからない】 個人県民・市民税納税通知書には、水源環境税額が印字されていない。県では、「平均世帯で年額950円の負担」とアナウンスしていたり、個人県民税負担額を所得別に示した早見表を出したり、Web上でシミュレーションできるソフトを公開しているが、いずれも、県民個人個人の所得控除や税額控除が反映されず、県民一人一人が、実際にどれだけの税額を納付しているのか実感が無いのではないのか？	

第5回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（横浜・川崎地域フォーラム） 意見集約表

番号	項目	内容	
15	その他	【丹沢大山のブナ】 これから温暖化の進行は止められないと思われます。寒冷地向きのブナが再生できる可能性はあるのでしょうか。ブナに代わる樹木があるのでしょうか。裸の山にしない為にも。	
16		【水源の森林がない地域の住民が「豊かな水・良質な水」づくりにどう協力できるでしょうか】 水の恵みを享受するだけでなく、自らのアクションが水源環境保全・再生に貢献できるために、どのようなことがあるのでしょうか。（行動、行為として）	
17		【県民意識の向上について】 フォーラム等に来ない人々の意識向上は重要だが難しい。 「水ゼミ」の議論の中で、その具体的方法としてどのような案が出ているのかお聞きしたい。	
18		【各種取組の意識改革に関して】 学生さんの仲間うちでも無関心な人も多くいると思われます。 この水ゼミの輪をより大きく広げる方法とか、考えておられますか？	
19		里山保全の課題が多いように感じられました。 私も相模原市内で谷戸田を含む里山の保全を行っていますが、この頃では若い人たち（ファミリー）が多く参加するようになりました。 又、体験ツアーを募集すると反響が大きく、対応にいつも追われています。参加者にはいつも満足してもらっています。方法の中身の工夫が大切と思います。	
20		ボランティアとして実作業に取り組んでいる自分から見て、テーマが大きく長期間かかることもあり、頭でっかちで船頭多くして…の印象があります。 実務に参加できる環境・雰囲気を作り、担い手が喜んで集まる方策を具体的に実行して欲しい。	
21		実行5カ年計画（第2ステージ）の立案の際には、県民の意見をどのように吸い上げるのか、工夫をお願いします。	
22		【小鮎川流域の養豚場問題について】 夜になると、養豚場で、豚の飼育の際に排出される糞を、小鮎川に流すそうです。小鮎川の3km近くは深夜に異臭がし、問題となっています。さらに、小鮎川は相模川へ合流し、相模川も豚の糞で汚されます。横浜市民はこの水を原料にして飲み水にしていると思うと信じられません。海も汚され、魚にまで及ぶのではないのでしょうか。 この養豚場の糞処理問題の解決法は無いのでしょうか。	
23		県民会議・県民フォーラムの運営等関連	松村さん・清水さんのような話をぜひ聞きたい。こうした話を中心に話し合ったら、面白いフォーラムになるのでは。 松村氏→これからの「行政との協働」とか、市民団体の「新しい組織・活動」の在り方に参考となりました。 清水氏→若い人たちの参加は嬉しい。これからの時代は若い人たちの時代！それを柱に若い人々自身が努力して、新しい在り方を創り出して欲しい。
24			今回も前半の内容が何を県民会議が「して」いるのか、「しよう」としているのか、「いかほど」の実績が出来たか…今少し判るようにしないと、個々それぞれの立場で勝手に語っているようです。そろそろ一工夫して下さい。チョット参加しただけでは解らない。 松村さんの話の内容、話の哲学、一筋通って説得力があった。こんな話が県民会議の中で議論されると、その結果として「フォーラム」が変わるのではないかと後半の話し合いが深まると「実」のあるフォーラムになったようです。時間切れで残念！
25	（フォーラムについて）やや改善が必要と書いたのは、3回の中では参加者を含めてリアリティーが無かった。横浜だったせいかなと思う。現場にいる人の話はよかった。新堀さんの話もけっこうよかったです。		
26	広くPRの場を設けるという観点から、今回の会場「かながわ県民センター」内で各種の会場、催し表示が多い中で、このフォーラム会場に行き着くまでわかりにくい。フリー来場者がスッと入れる工夫が欲しかった。		
27	コーディネーターが「これからが本番」と話をされましたが、まさにそうです。行政からの報告はもっと短くても良いと思います。		
28	県・市の取組みについての説明が長い。質問に対しての答えも、県は長い。ポイントだけで良いと思う。		
29	内容が多すぎて、消化不良。もう少し、テーマを絞った方がまとまる。		

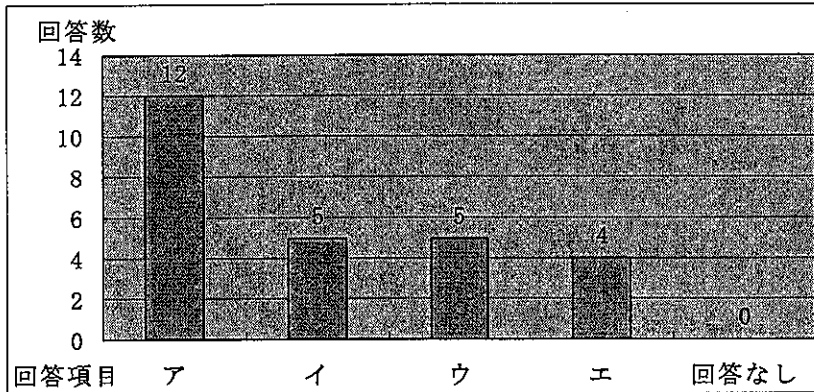
第5回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム
 (横浜・川崎地域フォーラム) アンケート集計結果

今後の取組の参考とするため、フォーラムに参加いただいた方々にアンケート調査を実施したところ、多数のご回答をいただきました。集計結果は次のとおりです(詳細は別紙のとおり)。

- 回収したアンケート…26枚
- 今後、水源環境保全・再生に関する情報提供を希望する人数…11名

Q1 本日のフォーラムのことをどのように知りましたか。

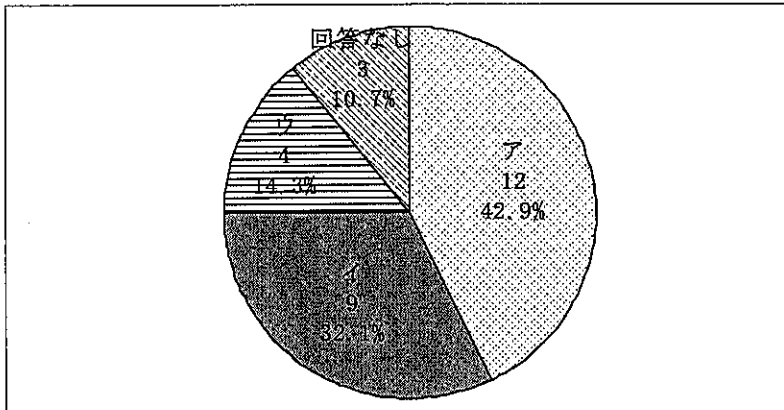
- ア 公共機関での配布物
- イ 県のホームページ
- ウ 所属する団体を通じて
- エ その他



- エ その他の主な内容
- ・ 県からのメール
 - ・ 県民会議委員から

Q2-1 今回のフォーラムはいかがでしたか。(一部複数回答あり)

- ア 良かった
- イ 普通
- ウ 改善が必要



アの主な理由

- ・ パネルディスカッションが良かった。
- ・ 普段飲んでいる水の水源の現状について知ることができ、有意義だった。

イの主な理由

- ・ 時間配分があまりよくない。
- ・ 結果報告から何を発展させようとするのか、消化不十分。

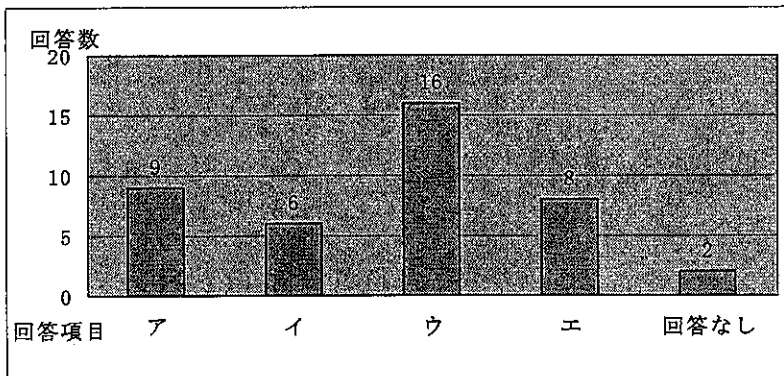
ウの主な理由

- ・ 予算消化はしているが効果のとらえ方に疑問を持った。

…etc

Q2-2 今回のフォーラムで興味深まったものはありましたか。(複数回答可)

- ア 横浜・川崎の水源地レポート
- イ 行政からの事業説明
- ウ パネラー活動事例・意見発表
- エ フロアディスカッション



アの主な理由

- ・ 水源をめぐる様々な活動について知ることができた。

ウの主な理由

- ・ 意見に納得性があった。
- ・ 具体的な提案があり、すぐに考慮すべき。

エの主な理由

- ・ 下流域の問題が提起されたため。

…etc